



自衛隊栃木地方協力本部

帰郷広報で、イベント支援・主権予定者のお宅訪問！ 「募集って大変ですね?!」

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、8月11日（月）、北海道から栃木県に帰省し、帰郷広報中の小田 翔 陸士長（北方方面後方支援隊・島松駐屯地）の支援を受け、那珂川町で実施した「鮎のつかみ取り」広報展への出店及び8月13日（水）には広報官同行で受験予定者宅に訪問した。

小田士長は、那須烏山市出身、烏山高校を卒業した入隊4年目の隊員で、宇都宮駐屯地で新隊員教育を受け、現在は、北海道島松駐屯地で勤務している。当時、入隊まで導いてくれた広報官に感謝し、今回の帰郷広報に至った。

広報展においては、制服試着で子供達の着替えを手伝い、来場者に一緒に写真撮ってください」とリクエストされ、応じるなど積極的に活動していた。また、受験予定者宅訪問では、受験予定者の疑問や質問に答えてくれるアドバイザーとして、さらに試験に向けてのアドバイスなど、受験予定者の不安解消に一役買うなど、同行広報官の「強力な助っ人」を努めてくれた。小田士長は、入隊前の当時は振り返り、「広報官の仕事は、大変ですね。当時も様々なフォローをしてもらったことに、とても感謝しています。これから自衛隊で頑張ろうと思っています」と語ってくれた。

大田原地域事務所長は、大田原管内から入隊した隊員の頑張る姿に感心するとともに、今後も地元地域での積極的な帰郷広報の協力を依頼した。

大田原地域事務所は、「今後も帰郷広報等で、地元出身隊員の協力を依頼して、募集活動に活かして行きたい」としている。



8月11日鮎のつかみ取り広報展で来場者の対応をする小田士長



8月13日 受験予定者宅を訪問する小田士長

福島地本・白河地域事務所との情報交換・連携強化

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）に、8月28日（木）、福島地本の企画班長以下5名、栃木地本からは募集課企画班長以下9名が参加し、総勢14名意見交換のための研修が行われた。

昨年度は、栃木地本が福島地本（白河地域事務所）へ来所し、県境の事務所が連携して募集活動をするということが目的で情報交換をはじめ相互に研修を行っている。

大田原地域事務所の談話室で、地域の特性や募集の方法等、予定時間を超える多くの意見交換が行われた。特に同様の特性を持つ地域での募集要領や学校開拓の方法等、大田原所員も見習わなければならない点があり、今年度もとても有意義な研修となった。また、所長間で、今後も情報交換、越境地域での連携、イベント等を実施していきたいと前向きな提案も検討された。

大田原地域事務所は、「今後も県境を越えて白河地域事務所との協力体制で募集に邁進していく」としている。



事務所長同士、握手を交わす



松尾2曹による地点指示の様子



懇談の様子：事務所へ来所し、栃木地本からは、募集課企画班長以下9名が参加し、総勢14名意見交換のための研修が行われた。